

全4日間
2019

11/7木・8金・9土・10日

会場

7日 芸能花伝舎 新宿区西新宿6-12-30
8日・9日 梅ヶ丘BOX 世田谷区梅丘1-24-18
10日 スターダス21 稽古場 板橋区小茂根4-16-1F

受講 俳優募集！
ワークショップに参加する俳優を募集

聴講 劇作家募集！ 実習あり！
劇作家に限り全日程聴講OK

見学 初日と最終日は一般公開！
どなたでもご見学いただけます

俳優・劇作家
応募受付期間
10月10日(木)
▼
10月23日(水)

見学予約受付開始
10月16日(水)

せりふを 読んでみよう

劇作家と俳優のための
せりふの読みかたワークショップ

第9回 講師

マキノノゾミ



せりふを通して 出会う貴重さ

劇作家と俳優は、せりふを通して出会います。俳優という未知の他者の解釈を経て、その肉声として発された「せりふ」と出会い直すことは、劇作家にとって貴重な経験です。また、劇作家自身がどのように「せりふ」を構築したかをじかに知ることは、俳優にとっても、意義があるはず。両者のセッションを実現する、唯一無二の講座です。

——坂手洋二

戯曲の書き癖

完璧な戯曲なんて、そうそうありません。粗さもあれば、それぞれ固有の“戯曲の書き癖”もあります。でも、その粗さや書き癖は、戯曲を読み解く糸口になり、時には戯曲の良さになることだってあります。俳優には、読解のヒントを。劇作家には、自作を振り返り次作に活かす機会を。さあ、せりふを読んでみよう。

——古川貴義

会いに行ける劇作家

俳優は演出家の言葉を直接聞くことはできませんが、劇作家の言葉を聞く機会はシステム上あまりありません。劇作家自身も、他の劇作家と作業する機会はほぼありません。劇作家が戯曲に込めた想いを読み解くコツを掴むのは簡単じゃないので、ちょっとズルいけど、直接聞きに试试看はどうでしょうか。

——奥山雄太

詳細は劇作家協会Webサイトで

<http://www.jpwa.org/>

文化庁委託事業「2019年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
主催：文化庁／一般社団法人日本劇作家協会
制作：一般社団法人日本劇作家協会